

【事業概要】

・当該区間の現道は、本名発電所堤体上のクランク部等の線形不良箇所や、本名スノーシェッド内の幅員狭小区間のため、著しく交通の支障となっていることに加え、道路構造物の老朽化や平成23年新潟福島豪雨による浸水被害等、道路交通上の大きな障害となっています。このため、バイパス化を図ることで、安全かつ円滑な交通を確保することを目的としています。

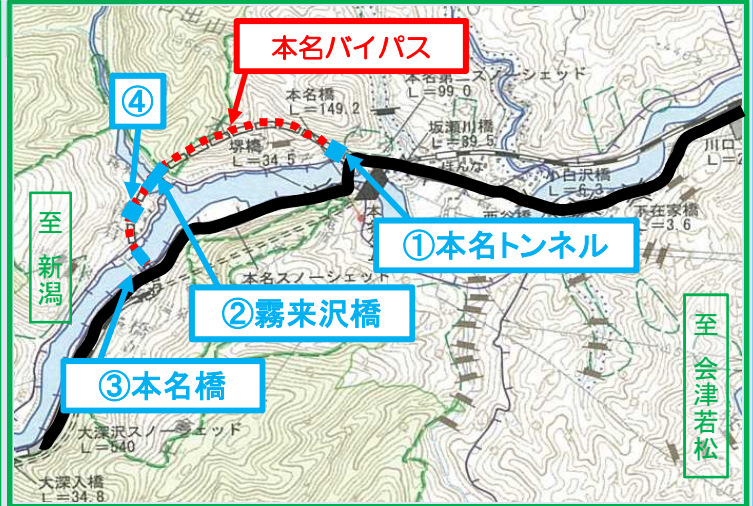
- ・事業着手 平成22年度
- ・事業完了 平成30年代前半
- ・計画内容 改良工 L=2,680m W=6.0m(8.0)m

【平成30年度の事業内容】

- ・(仮称)本名トンネル工事 L=1,429m
- ・(仮称)本名橋上部工工事 L= 219m
- ・(仮称)霧来沢橋上部工工事 L= 161m
- ・道路改良工事 L= 750m

【現場のポイント】

・自然豊かな周辺環境をはじめ、只見川の河川条件や日常生活交通等に配慮した工事を行います。



① (仮称)本名トンネル



① (仮称)本名トンネル



② (仮称)霧来沢橋(上部工工事)



③ (仮称)本名橋(上部工工事)



④ 道路改良(湯倉地区)



平成30年代前半の事業完了に向けて、(仮称)本名トンネル、(仮称)霧来沢橋・本名橋上部工工事、橋立・湯倉地区の道路改良工事を施工しています。

